

保護者様

丹波市立春日部小学校

令和2年度 学校評価アンケート集計結果について

11月末から12月初旬にかけて実施しました学校評価アンケートの集計結果をご報告させていただきます。

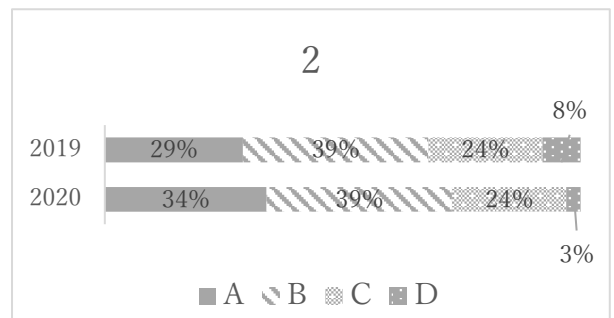
今年度の保護者アンケートは、全校生106名に実施し、回収率は、96%となりました。また、同時期に児童にもアンケートをとりました。その結果を、回答がA(そう思う)かB(大体そう思う)を選んだ方とC(あまりそう思わない)かD(思わない)を選んだ方をそれぞれ合計したもので昨年度と比較し、±5%以上違う項目のみ取り上げ、まとめております。内容をご確認いただきますと共に、学校と家庭・地域が一体となって、子どもたちを育ていけるようご支援をよろしくお願いいたします。

児童アンケートより

○肯定的な回答が増えた項目

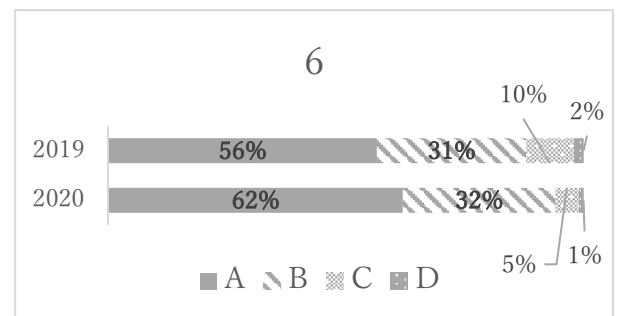
2. 先生によく褒められたり、励まされたりしますか。

- ・昨年に比べ、5%アップ(68%→73%)
- ・教師が、昨年度のアンケート結果をもとに、褒める意識を高くもち、関わっている。また2人の教員で授業を行ったり、なかよし班掃除を行ったりして、多くの教員と関わるようになり、褒めてもらう機会が多くなった。



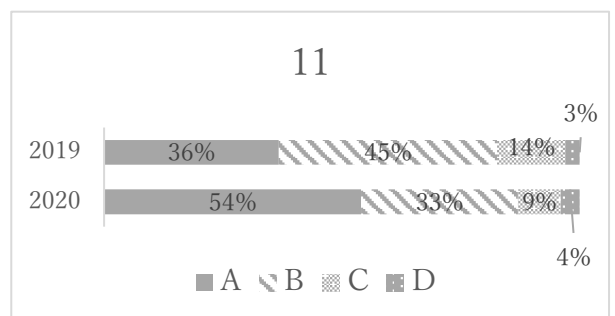
6. 2人の先生がいると1人の先生のとより、 分かりやすく楽しく学習できますか。

- ・昨年に比べ、6%アップ(88%→94%)
- ・授業だけでなく、のびのび教室などでも学習し、様々な教師が関わっている。低学年を中心に意欲的な学習につながっている。



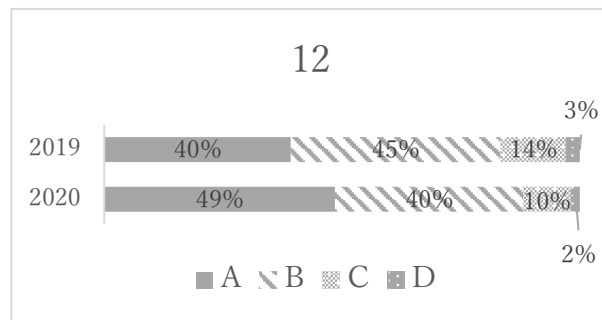
11. 誰とでも、仲良く遊んでいますか。

- ・昨年に比べ、7%アップ(81%→88%)
- ・今年度低学年なかよし班遊びを実施し、異学年交流を意図的に行った。また、高学年が1年生教室へ行き、遊びに誘う姿も見られることから、学年の枠を越えたつながりができつつある。



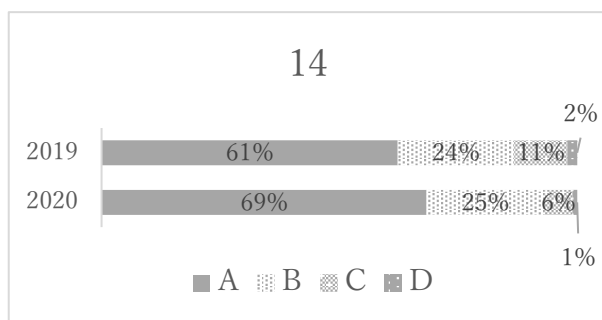
12. 人を大切にする言葉遣いをしていますか。

- ・昨年度に比べ5%アップ（84%→89%）
- ・あったか言葉集めなどの月目標や終わりの会での「いい所見つけ」や「ほめほめシャワー」、児童発案のおめでとう、ありがとうポスト(放送委員会)の設置等により、優しい言葉に触れる機会が増えた。



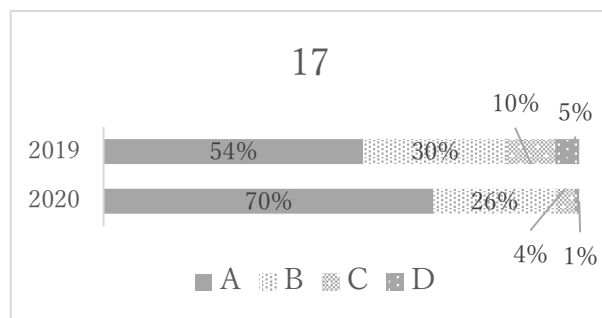
14. 自分からあいさつをしていますか。

- ・昨年度に比べ8%アップ（85%→93%）
- ・保護者アンケートの「家であいさつをしている。」「地域であいさつしている。」の項目も昨年度より、2項目合計で見ると4%アップしている。月の生活目標であいさつに関する目標を設定すること等により、児童にあいさつの習慣がつつつつある。



17. 春日部地域のことが好きですか。

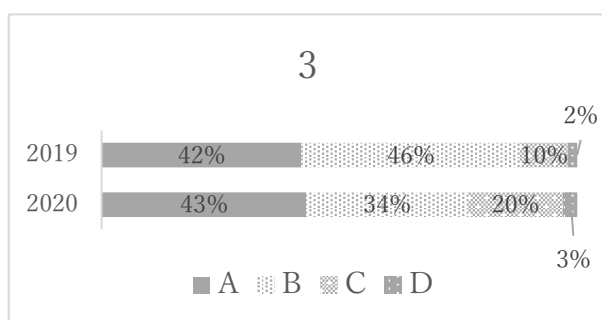
- ・昨年度に比べ、11%アップ（84%→95%）
- ・コロナ禍で、地域の行事などは中止だが、児童たちは、愛着をもって過ごすことができている。地域の方々にゲストティーチャーとして学習に参加していただいたり、見守りボランティア・読み聞かせボランティアをしていただいたりしていることも影響していると考えられる。



▲肯定的な回答が減ったもの

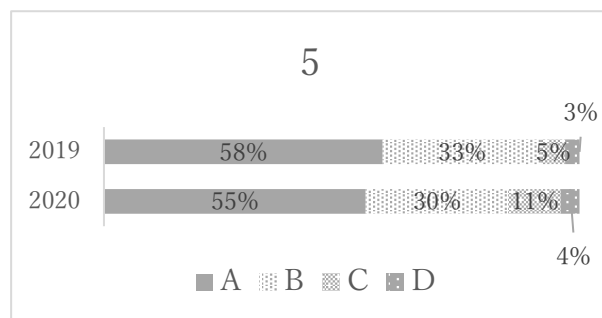
3. 友だちをよく褒めたり励ましたりしていますか。

- ・昨年度に比べ、11%ダウン（88%→77%）
- ・新しい生活様式でソーシャルディスタンスを意識するようになり、そばで寄り添って褒めたり励ましたりすることができにくくなったのも要因だと考えられる。



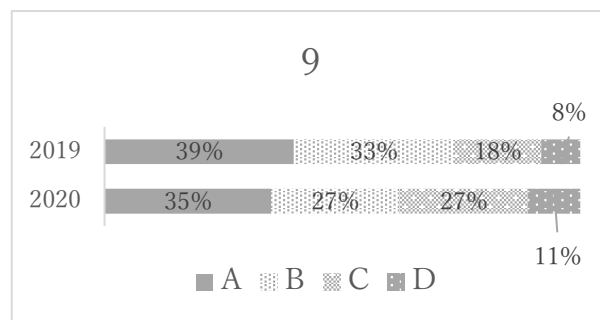
5. 学習が分かりにくいとき、先生に尋ねやすいですか。

- ・昨年度に比べ、7%ダウン（92%→85%）
- ・教師の関りや励まし（項目2）が低下しているわけではない。新学習指導要領に基づき、教師主導でなく子ども同士の関わりによる問題解決を意図的に図っている場合もある。



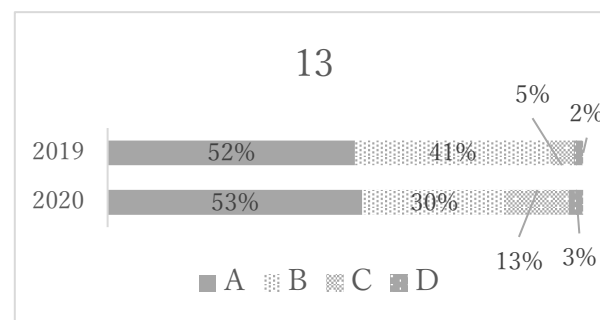
9、進んで読書をしていますか。

- ・昨年度に比べ、10%ダウン。(72%→62%)
- ・保護者アンケート「家庭読書が習慣化している。」も6%ダウン。
- ・読み聞かせをボランティアや委員会の児童で行っているが、進んで読書をするのは、あまり定着していない。



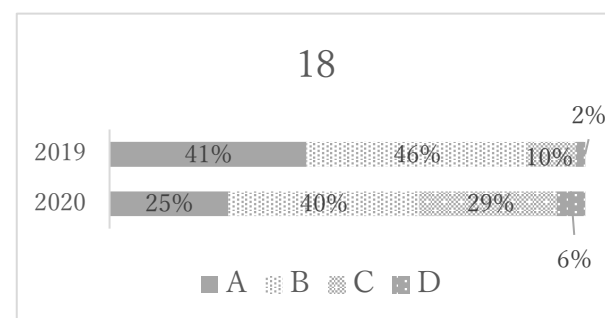
13、困っている友だちに自分から声をかけていますか。

- ・昨年度に比べ、9%ダウン(93%→84%)
- ・割合はダウンしているが、高学年の児童が、低学年の児童に優しく手助けしている姿がよく見られる。
- ・同級生同士でも、困っているときは、声をかけたり、手助けしたりしているので、その時々で、褒めたり、価値づけしたりして自信を持てるように教師も心がけていきたい。



18. 学校やクラスをよくするために、進んで行動していますか。(4.5.6年生対象)

- ・昨年度に比べ、23%ダウン(88%→65%)
- ・全学年をまとめたり、引っ張っていったりしようとする言動が少ないと感じる。コロナ禍で制限があるため、委員会等で企画をしても達成感などが感じにくいと考えられる。しかし、低学年が高学年の姿を見て、憧れを抱いたり、高学年が意図的に低学年との関わりを大切にしたりする姿が見られるようにしていきたい。



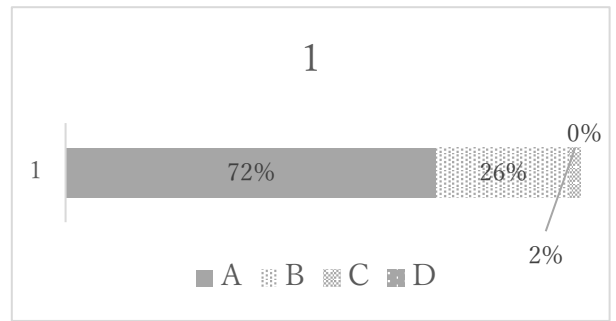
3・5・13の項目の結果より

- ・自分の困り感を伝えることを苦手としている児童が多い。また、今までの学力調査を分析すると、表現力(伝える力)にも課題が見られるため、今後は、各教科の授業を通して自分の思いや考えをまとめたり、学校朝会や朝の会などの時間を使って、相手に分かりやすく伝えたりする力の育成に取り組んでいく必要がある。

保護者アンケートより

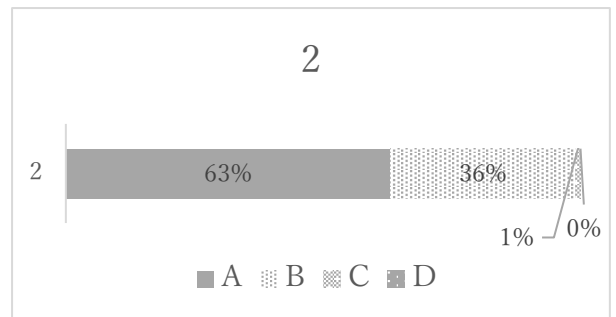
1、学校は、学校行事等において、新型コロナウイルス感染拡大防止のために適切な対応をしている。

- ・98%と高い割合。
- ・3密にならないような工夫を重ねて運動会やミュージックフェスタ等の行事を開催したり、健康観察カードを作成して家庭と連携して児童の健康管理を徹底したりできたことを評価していただいていると思われる。



2、学校は、地域とともにある学校づくりを進め、教育の充実に努めている。

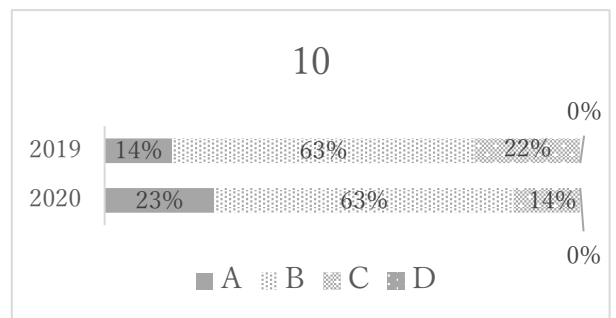
- ・99%と高い割合。
- ・コロナ禍で制限ある中でも、可能な範囲で地域の方などとの関わりを大切にしながら学習を進めている。



○肯定的な回答が増えたもの

10、子どもは、相手を思いやる言葉づかいをしている。

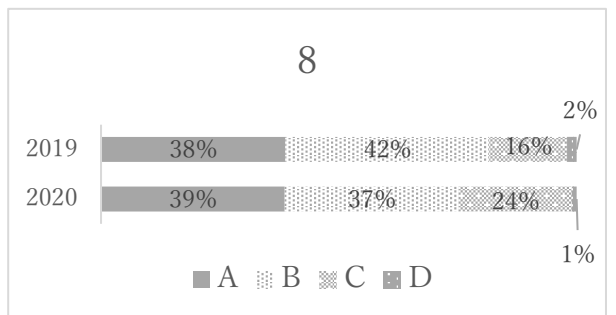
- ・児童アンケート「人を大切にする言葉づかいをしていますか」の項目も5%アップ。
- ・10月、11月の月目標が「あったか言葉」関連の内容だったことや、教師が児童を「～さん」と呼んだり、丁寧な言葉遣いに努めたりしていること等も影響していると考えられる。



▲肯定的な回答が減ったもの

8. 子どもは、家庭学習が習慣化している。

- ・昨年度と比べ、5%ダウン（80%→75%）
- ・今年度は家庭で過ごす機会が増えているが、意欲が低下しているのかもしれない。学習の定着（時間、質、タイミング）を目指し、今以上に保護者の方との連携を図っていく。



9、子どもは、家庭読書が習慣化している。

- ・昨年度と比べ、6%ダウン（50%→44%）
- ・今年度は、家庭で過ごす機会が増えているが意欲が低下しているのかもしれない。ぐんぐんカードの読書の項目や家庭読書記録カードの取り組み方などの工夫等をしていく必要がある。

